

3. 北関東（地域別調査機関：（株）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向 関連 (北関東)	良くなる	コンビニ（経営者）	・暑い夏がやってくる。夏を先取りしたような天候が続いているが、売上は上々である。よほどの天候不順がない限り好調は続くともみている。
		コンビニ（経営者）	・コンビニエンスストア業界にとって、夏場は1番ピークを迎える季節である。冷たいもののほか、様々な行楽用品も増えるという期待があり、良くなる。
		コンビニ（経営者）	・コンビニエンスストアは7～8月の気温上昇によりソフトドリンクが売れる。また、夏休みの時期で売上が上がるとみている。
		通信会社（営業担当）	・賞与支給により消費は高まるが、一過性のものでその後の継続性は望めない。円安による物価上昇で実質賃金は低下し、需要の喚起には至らない。
	やや良くなる	商店街（代表者）	・今の動きを見ていると、客は余計な物は買わないが、必要な物は買っているので、あまり変わらない。
		商店街（代表者）	・名刹のご開帳終了の反動はあると思うが、大河ドラマ効果で引き続き来客数が増えるともみている。
		一般小売店〔家電〕（経営者）	・客の購買意欲が少しずつ上向きになってきているようである。
		百貨店（店長）	・今後市役所の施設が駅前に移転してくるので、やや良くなる。
		スーパー（店長）	・気温の上昇に伴い、飲料を中心とした涼味商材の売行きがかなり増加してきており、初夏の新品を取りそろえることで、客の購買意欲につながってくれるのではないかとみている。
		スーパー（総務担当）	・商品単価も前年より上昇し、客数も前年並みに戻っているので、衣料品次第だが数字も大きく伸びると思う。今後の景気も徐々に上がってくるのではないかと期待できる。
		コンビニ（経営者）	・近隣のファミリーレストランも徐々に客数が減っているようである。またランチの客も少しずつ減ってきているようで、当店は少しは良くなるのではないかとみている。
		衣料品専門店（統括）	・夏、秋祭りに向けて、祭りに関する問い合わせがやや増えている。また祭りに使う道具の修理依頼などが来ている。
		家電量販店（店長）	・例年になく暑い日が多く、エアコンの伸びは良い。この傾向が続けば期待はできる。
		住関連専門店（店長）	・特売品以外も徐々に売れている。今後ボーナスの状況にもよるが、回復基調になる。
		住関連専門店（仕入担当）	・楽観的な状況にはないが、前年との比較では少しずつ消費税増税の駆け込みの反動が薄れ、持ち直してくるとみている。
		一般レストラン（経営者）	・食材の値上がりは今後の不安材料ではあるが、週末の客の動きは良くなっているようである。
		一般レストラン（経営者）	・天候が良いためか行楽客が多いようである。レジャーに回すお金に余裕が出てきたのであれば、景気はやや良くなっていくと考えてもよいのではないかとみている。
		観光型旅館（経営者）	・6月の売上は、現時点で前年より若干良い傾向になっており、この流れで7～8月もやや良くなると期待している。
		都市型ホテル（スタッフ）	・大口客の売上が直近で積み上がってきており、予約件数も前年同時期と比べて若干増加している。
		都市型ホテル（副支配人）	・夏場は学生団体や地元で開催される大きなイベントにより、高単価が期待できる。現状の販売量と単価の反比例現象を解消させたい。
旅行代理店（所長）	・名刹の式年行事を弾みに、引き続き情報発信を継続することにより、観光客の伸びは期待できる。		
旅行代理店（営業担当）	・7～8月にかけて旅行業界は繁忙期を迎えるため、やや良くなる。		
ゴルフ場（総務部長）	・そこそこのコンペの予約が増えてきている。		
変わらない	商店街（代表者）	・当地は名刹のご開帳で、周辺は人であふれているが、買物は飲食以外は、ひどいと言っている。大都市のような景気上昇が、地方全体に来るのはいつだろうか。	
	商店街（代表者）	・消費が控え目のなか、マイナンバーの導入による写真撮影の受注があると見込んでいる。	
	一般小売店〔精肉〕（経営者）	・プレミアム付商品券を購入した客がどんどん利用すれば景気も良くなると思うが、まだまだ使用が少ないので、変わらない。	
	一般小売店〔家電〕（経営者）	・家庭に行き渡っている電化製品は、必要にせまられ購入するケースが多い。家計に余裕があれば故障前の買替え、新製品購入もあるが、客の消費に対する慎重さは、しっかり根付いている。	

百貨店（営業担当）	・ボーナス等はプラスの予想があるが、同時に物価上昇もあるので、消費については依然慎重な兆候が見られる。
百貨店（営業担当）	・慎重に品選びを行う客の姿勢は相変わらずで、今夏の賞与の多寡にかかわらず、客の消費行動は引き続き慎重さを伴うことが十分に予測できるので、変わらない。
百貨店（販売促進担当）	・来月よりプレミアム付商品券の販売が始まるため、プラスになると期待している。中元商戦、クリアランスセールに突入するが、昨今のトレンドを考慮すると厳しい状況は継続するとみている。
百貨店（店長）	・客の消費意欲は高くない。売上も前年を上回る月もあるが、一昨年には及ばない。
百貨店（副店長）	・食料品を中心に値上げが続き、客はこれまで以上に価格に敏感になっている。また、賃金はなかなか上がり、労働条件の厳しい職種では人手不足が全く解消されない。好景気による人手不足ならまだ良いのだが、本当に働き手が少なくなっているのではないかと感じる。人口減少によるものであれば、消費に対する直接的な影響もじわじわと出てくるので、先行きが不安である。
スーパー（経営者）	・改善の状況は見られない。
スーパー（店長）	・中元商戦に入る時期となるが、商売上の悪条件が今のところ無いので、現状変化はない。
スーパー（統括）	・株高やベースアップ等で好調に映る景況感だが、当社の客の半数近くは、景気にあまり関係のない年金受給者や農業従事者であり、短期間での影響は受けにくい。奇数月対策は重要なファクターとなっている。
スーパー（商品部担当）	・商品の価格改定などが多く、消費者の動向が気になるものの、大きな変化はないのではないか。ただし、天候に左右される生鮮食料、夏物商材などによっては変化がある可能性もある。
コンビニ（経営者）	・客数の回復がない限り、良くならない。
コンビニ（店長）	・ここ何か月かを客単価でみると、特別変化はない。来客数次第で若干の変動がある状況が続いており、今後もあまり変わらないのではないかと。
衣料品専門店（販売担当）	・当店は婦人服を扱っており、客の女性は現実的に敏感であり、先行きに不透明感があればあるほど財布のひもは固くなる。最近は少しゆとり感というのが見えてきている。ただ、これは長続きしないとみている。現状多少良くなってきている部分が、しばらくは続いていくのではないかと。
家電量販店（営業担当）	・客の購入単価は大変厳しい。仕入価格も高騰しており、薄利多売が続く状況である。
乗用車販売店（経営者）	・客の購買意欲に強さが感じられない。
乗用車販売店（経営者）	・株価は上昇しているが物価も上がり、所得は横ばいのため実体経済の側面からは、先行きは悲観的になってしまう。
乗用車販売店（経営者）	・大企業は円安、株高により景気は上向いているかもしれないが、まだ地方にはその効果は波及していない。
乗用車販売店（営業担当）	・我々自動車販売会社では、販売量、売上の数字がすべてだが、この先よほど価格が安く維持費も安い、安全な車が発売されない限り、現状維持していくのが精一杯である。
乗用車販売店（販売担当）	・今より良くなる理由がない。新型車を投入するなどしているが、来店客は少なく、客の関心があまりないようである。この景気のせいだとみている。
乗用車販売店（販売担当）	・営業部がいろいろと販売方法を考えたり、ミニ展示会と同時に車のシステム販売等も始めたが、それほど飛躍的な伸びは望めない。現状全くゼロという状態ではないが、販売台数と整備の入庫台数が低調である。何かよほどの変化があるか、身近なところで景気が良くなれば別だが、現状のまま推移していくのではないかと。
自動車備品販売店（経営者）	・今一つ購買意欲の高まらない状態が続いており、若干期待も含めてプラスマイナスゼロではないかと。
一般レストラン（経営者）	・地方創生政策を進めているようだが、一部の地方だけで全体的な地方創生の対策がまだまだ回っていないようである。特に、地方の中小企業はまだまだ苦戦をしている。
一般レストラン（経営者）	・多少賃上げがあっても、物価が相当上がっているため景気回復を実感することはないように思える。染みついてしまっているものを変えるのは大変である。
スナック（経営者）	・今の悪い状態がこれ以上悪くならないで欲しいので、変わらないを選択した。良くなるようには思えない。何か名案があったら教えてほしい。

都市型ホテル（営業担当）	・5月はなかなか伸びなかったが、現時点でまだ6月のホテルの稼働も伸びている状況にない。3か月先については、確実に良くなる材料が現状ないため、変わらないとみている。	
旅行代理店（副支店長）	・夏以降の動きは鈍く、特に企業、団体の動きが悪い。個人についてはこれからだが、前年とほぼ同程度の受注である。北陸新幹線を利用して旅行する方は増加傾向だが、夏から秋口に向けての受注は少ない。	
タクシー運転手	・地方では景気の良くなったという話は、全く聞かない。	
タクシー運転手	・4～5月と名刹のご開帳があったが、それほど影響はなく、また今後も変わらないとみている。	
通信会社（経営者）	・プレミアム付商品券の発行が予定されており、この機会を良い追い風にしていきたい。	
テーマパーク（職員）	・夏前だが天候が良く、飲料、アイス類は伸びているが、土産品、特に暑さに弱い商品の購買意欲は減少している。	
観光名所（職員）	・インパウンドは増えているものの、国内では貸切バスの法改正で運賃が高額になったこともあり、団体旅行が減少している。マイカーでの日本人観光客も減少傾向である。	
遊園地（職員）	・訪日観光客は順調だが、国内の消費意欲は停滞気味であり、今後しばらくは現状維持で推移する。	
ゴルフ場（支配人）	・気温の高い日が続く、散水費用が増すとみている。リゾートエリアに立地しており、予約は順調に伸びる。相変わらず値引き依頼は多い。	
美容室（経営者）	・固定客は常に節約のことばかり考えており、高価格の美容施術を提案しても受け入れない状況である。	
その他サービス〔立体駐車場〕（従業員）	・統一地方選挙が終わり、例年この時期から来客数は増えてくる。回数券、定期券販売等の予約等、例年と横ばいのため変わらない。	
その他サービス〔イベント企画〕（職員）	・イベントなどの参加状況をみると、若い人にまだまだ余裕がないと感じられる。	
設計事務所（経営者）	・なかなか決まらない計画が多く、具体的な仕事にならない。	
設計事務所（所長）	・変わらないと回答したが、来月のほうが危機的状況である。早く手を打たないと悪化するばかりで先々不安である。	
設計事務所（所長）	・当地で建築需要が一気に高まるとは考えにくく、今のような状態が続くとみている。	
住宅販売会社（従業員）	・他の観光地別荘地に比べ、交通の利便性が劣っている。別荘所有者は高齢化により自家用車の運転が困難となる人が増加している。	
住宅販売会社（経営者）	・次の消費税増税時期が近づくまで現状のまま推移するとみている。	
やや悪くなる	一般小売店〔乳業〕（経営者）	・地方の消費が上向く要因は、見当たらない。
コンビニ（店長）	・今月は町中のイベント等による来街者がやや多く、来店客は多少増えたが、売上増に寄与するまでには至らない。来月下旬に商圏内に同業他チェーン店がオープンするため、その後しばらく苦しい展開になるとみている。	
衣料品専門店（店長）	・円安により輸入食品や燃料費の上昇が、家計を圧迫しているため判断を許さない。	
乗用車販売店（管理担当）	・円安による原材料高や期待ほど賃金が上がらないことから景況感は鈍る。	
その他専門店〔燃料〕（従業員）	・例年10月ごろまで2～3割程度、減少する時期になる。	
スナック（経営者）	・今月末で名刹のご開帳が終了するので、入出が減るとみている。大きく落ち込まないよう、頑張りたい。	
都市型ホテル（スタッフ）	・名刹のご開帳もこの5月で終わるので、その反動が大きいのではないかとみている。今後北陸新幹線利用の旅行者がどの程度当地に立ち寄るかが課題である。	
タクシー（経営者）	・5月後半から動きが悪くなり、今後も悪くなるとみている。	
タクシー（役員）	・人材不足でやや悪くなる。	
通信会社（経営者）	・相変わらず個人の消費意欲がない。企業も簡単には成長が見込めず、将来への安心感がなく、収入が増えても一時的なものとして貯蓄に回ってしまうため、個人消費は伸びない。	
競輪場（職員）	・全国発売の記念競輪レースの売上が目標に届かない。60億円の大会を切るようになってきている。	
美容室（経営者）	・株価上昇などの景気の良い話は当地では現実味に欠ける。商店街の役員がイベントを企画し実施するが、客の気持ちはなかなかそれに乗らない。実績は今までの積み重ねとは思いますが、これまでの下降傾向の景気は底までいったような気がする。今後は復活となればよいが当社は意気消沈である。	

	悪くなる	一般小売店〔衣料〕 (経営者)	・天気も良く環境も良いのだが、客が増えても売上が増えるということがないので、やはり大変である。
企業 動向 関連 (北関東)	良くなる	輸送用機械器具製造業 (経営者)	・主要取引先である自動車メーカーの輸出が増加しているの で、良くなる。
		その他製造業〔環境機 器〕(経営者)	・来年4月までに自社業務用太陽光発電装置、規模は10か所 5.000キロワット程度の建設設置が完了し、大手電力会社と の連携が終わる。パネル、架台、パワーコンディショナーの 支払いがドル払のため、円安が進み値上がりしており気が かりである。自社以外では、地元自動車メーカーの3次下請 まで、毎日残業の話が来ているが、他の企業で良い話は、ほと んど聞かない。太陽光発電関連では、該当しない調整区域の 土地は、県庁所在地でも一反300坪を借地代は0円、購入は 40万円で買い手がつかないというような話ばかりである。
	やや良くなる	食料品製造業(営業統 括)	・円安が進み輸入品の価格引上げの中、国産品、特に甲州種 の東南アジアへの輸出が目立っている。和食文化の浸透や関 係者の後押しもあり、今後も大きな伸びが期待される。
		化学工業(経営者)	・2~3か月先を納期とする引き合いが具体的に決まり始め てきたので、期待している。ベース製品の先行きは不透明な ところもあり横ばいと思われるため、それを加味して、やや 良くなるとみている。
		窯業・土石製品製造業 (経営者)	・単価は安い、数年ぶりの大量受注があり、直近の見通し は明るい。
		一般機械器具製造業 (経営者)	・マイナーモデルチェンジに伴う自動車部品の増産予定があ り、売上額は上昇する。また、新規航空部品の仕事が軌道に 乗り、安定生産が見込まれる。
		建設業(開発担当)	・公共工事は現政権のもと順調な発注がある。ただ10年以上 続いた建設不況の影響で、当社も社員数が半分以下になっ ている。特に若い社員がいない。建設業全体で高齢化が進ん でおり、企業の成長には人の新陳代謝が一番大事である。当社 もここ何年か新規卒業社員が入社していないが、これは賞与 支給を行っていないためである。今後一番の課題は賞与支給 実施である。
		建設業(総務担当)	・公共工事は前倒しで発注されると発表があるので、良く なっていくのではないかと。
		通信業(経営者)	・最近のニュース等で若干の景気回復傾向を感じている。
		金融業(経営企画担 当)	・富士山の世界遺産登録から、外国人観光客が増加してき ており、これから夏に向けて観光シーズンを迎え、景気動向は 上向いてくると考える。
		経営コンサルタント	・企業は新年度で投資機会が増え、賞与シーズンを迎えると ともに夏休みに入る時季になるので、設備投資及び個人消費 の増加が期待できる。
		その他サービス業〔情 報サービス〕(経営 者)	・現状の引き合い状況から見ても、受注量の増加が見込ま れる。
	変わらない	食料品製造業(製造担 当)	・販売数は落ちていないが、為替の動向が気になる。今の為 替相場で推移していればよいが、現状の為替相場でも原料費 は高止まりしているところを更に円安に進むと、確実に原料 費は値上がりする。上がらないことを祈るのみである。
		窯業・土石製品製造業 (総務担当)	・例年通りこの時期はあまり変化がない。
		金属製品製造業(経営 者)	・今の取引先の様子では変わらないという予想だが、期待感 はある。いつも、翌月には仕事量が多くなるのではないかと の話はある。現実にはなかなか増えないが、期待をして仕事 をしている。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・主要取引先で6月に開催される、上期事業動向説明会を聞 いてみないと不透明ではあるが、増産等の明るい情報はな い。
		電気機械器具製造業 (経営者)	・安定的な仕事が少なくまだまだ単発が多い。
		電気機械器具製造業 (営業担当)	・当面は現状維持で推移している。これからの受注状況にも よるが本格的に忙しくなるのは先になりそうである。
		輸送用機械器具製造業 (経営者)	・取引先が十数社あり、暇な会社、忙しい会社、まずまずの 会社と、いろいろ取引しており、当社はまずまずの成績であ る。今後2~3か月は忙しい会社が増えるか、暇な会社が増 えるか分からない状況である。
		その他製造業〔宝石・ 貴金属〕(経営者)	・海外市場頼みで国内市場は依然低迷している。株価の高騰 により高額品の販売に期待が持てるものの、全体が良くなる までにはいかないとみている。
		その他製造業〔消防用 品〕(営業担当)	・しばらくはこのままで推移すると考える。

		輸送業（営業担当）	・今後も暑い日が続き、特に夏物商材であるエアコン、扇風機などの物量が増加する見込みである。ただし円安や、輸送コスト等の上昇もあり、利益の減少が気になる。
		金融業（調査担当）	・業種や企業により見通しがまだら模様であり、方向感が見えにくい状況にある。
		金融業（役員）	・都市部の景況の良さは地方にはまだ波及していない。地方は市場のパイがないので、激しい過当競争となっており利幅が少ない。消費動向は夏のボーナスが1つの鍵なので、そこが上がるようであれば消費が拡大するとみている。
		不動産業（管理担当）	・金額の大きい受託業務の話はあるが、そのために新たな人員が必要になりそうである。しかし、その受注も確定しない上、確定し人員を雇用する場合でも長期受注となるか不明で、雇用形態をどうするかなど問題が多い。最近是不確定要素を大いに含む業務の引き合いが、多くなっている。
		新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・多くの商店会関係者は名刺のご開帳閉幕後の停滞、低迷を懸念している。一方、前月に引き続き、ミニコミ誌等の広告出稿は前年を上回る集稿ができています。
		司法書士	・当地は、下請メーカーの多いところなので、大手の好景気が伝わってこない、景気の回復は見込めない。
		社会保険労務士	・地方の中小企業は賃金が増えていないためか、消費者と直接相対している業種は苦戦している事業所が多い。
	やや悪くなる	広告代理店（営業担当）	・消費税増税の影響はまだまだ続く。
	悪くなる	出版・印刷・同関連産業（経営者） 一般機械器具製造業（経営者）	・相変わらず利益が出ないので、大変な思いをしている。 ・4～5月に比べれば6月からは多少受注量は増加するが、生産能力からするとまだ不足である。
雇用 関連 (北関東)	良くなる	-	-
	やや良くなる	人材派遣会社（管理担当） 人材派遣会社（支社長） 職業安定所（職員） 学校〔専門学校〕（副校長）	・蒔類の製造派遣が多くなり、携帯電話のボーナス商戦が激化して、下取り業務の派遣も増えると予測している。 ・採用側から見れば、圧倒的に若い層の働き手が減ってきている。一旦底を打った景気は、今後、人手不足を背景に、正社員での採用が再度加速するとみている。 ・大型商業施設の新規出店に伴う建設業の受注増が見られる。サービス業の求人増加も見込まれる。 ・職種に偏りを感じるが、求人は増加傾向である。しかし、一時的な仕事への募集であり、バブル期前のような計画性をもった採用はまだ出てきていない。
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・5月はかなり暑さが厳しく、野菜不足により生産が追い付かないのではないかと。冷凍食品等については引き合いが出るかとみているが、ガソリン価格によっては、物流の動きが相当圧迫されるのではないかと。公共事業関連は依然として動きが見られず、分からない。
		人材派遣会社（経営者）	・仕事が安定しており、売上も安定している。現状プラスマイナスはない。
		人材派遣会社（営業担当）	・職安、求人チラシ等、いつも同じ企業の募集が出ている。業務内容も含め条件が悪いのか、求職者の動きが理解できないことがある。
		求人情報誌製作会社（経営者）	・周辺企業の景気回復は足踏み状態であるが、今後、夏に向けてパート、アルバイトの募集は例年通り増えるかとみている。
		職業安定所（職員）	・名刺のご開帳は今月末で終了するため、小売、サービス業についての先行きは不透明である。ただ、北陸新幹線延伸開業により平日のビジネス客は増加しており、今後の動向に注目している。
		職業安定所（職員）	・景気が良くなるための要素として賃金の上昇があるが、今のところ中小零細企業において具体的な動きが見えない。
	やや悪くなる	-	-
	悪くなる	-	-